

# かわら版

相澤病院  
医療連携

患者さんに  
役立つちょっと  
いい話



2022.7 No.15



相澤病院のアンケートで「入院した際、病院から見える山がとても綺麗だった」と感想を頂きました。今回は病院から見える景色をご紹介します。

## Drカー・モバイルERが4台になりました。

遠方から重症の患者さんが搬送されてくる場合、医師や看護師、救急救命士が乗り込んで処置ができる「モバイルER」「ドクターカー」が救命救急センターから出動します。モバイルERとドクターカーには、救急治療に必要な機材や医薬品を搭載しており、救急車で搬送される患者さんを途中で引き継いで早期に治療を開始したり、他の医療機関との間で搬送する際に継続的な治療をおこなうなど、救命率の向上に大きな役割を果たしています。

救命救急センター、DMAT（災害派遣医療チーム）指定病院および地域医療支援病院としての機能を果たすため、現場からの医療継続搬送、災害現場への医療チーム派遣、連携医療機関との傷病者搬送を実現する体制を整えています。

## 相澤東病院は公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)の認定を受けました。

2022年6月3日付で公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価(3rdG:Ver2.0 一般病院 1)」の認定を取得しました。(認定期間：2027年6月2日まで)

相澤東病院が提供する医療が、第三者機関により一定の水準を満たしていると認められたものであり、今回の認定を一つの励みとしつつ、今後も引き続き、地域の皆様に安全・安心な医療を提供して参ります。

※日本医療機能評価機構とは国民のみなさんが適切で質の高い医療を安心して受けることができるよう医療機関の機能を第三者からの視点で評価を行い、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関です。その認定を受けた施設は安心・安全に医療が受けられる目安となるものです。



## 病室から見える、美しい景色をご紹介します。

当院では病棟より 360 度どこの窓からも信州の雄大な山が見えます。患者さんより「360 度見渡せる山の図と名称を教えてくださいと、入院して退院までの間の楽しみが増えると思います」とお話を頂きました。今回は、相澤病院から見える景色をご紹介します。



### 西側

天気の良いと病棟の西側の窓から、北アルプスの雄大な景色が見えます。3000メートル級の峰々が連なり、厳しくも美しくそびえる日本アルプス。「日本の屋根」とも呼ばれる雄大な山並みを、「ヨーロッパの屋根」アルプス山脈になぞらえ日本アルプスと

名付けたのは、明治時代日本にやってきた英国人でした。この日本が誇る北アルプスからのパワーを感じ、一日でも早く退院できるよう、患者さんは治療に励んでいます。ひときわ美しくそびえるのが常念岳（2661.8m）です。病棟から見る美しい景色が、患者さんを癒やしてくれます。



### 南側



南側の窓からは標高約 650mの弘法山にある東日本最古級の前方後方墳（ぜんぼうこうほうふん）が見えます。春は約 4000 本もの桜でピンク色に包まれます。



### 東側

東側の廊下からは、日本百名山のひとつで、最高峰の王ヶ頭（2034m）とその周辺の王ヶ鼻（2008m）が見られます。周辺の茶臼山、牛伏山、鹿伏山、武石峰一帯が「美ヶ原高原」と呼ばれています。火山性堆積物の隆起と浸食によって作られたと考えられており、平原は南北 8km に及びます。

